



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 アルプスアルパイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6770 URL <https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>

代表者 （役職名）代表取締役 社長 CEO （氏名）泉 英男

問合せ先責任者 （役職名）代表取締役 専務執行役員 COO 兼 CFO （氏名）小平 哲 TEL 050(3613)1581

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	238,920	2.3	3,726	204.3	1,270	△73.5	△2,821	—
2025年3月期第1四半期	233,593	6.9	1,224	—	4,787	102.5	445	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 △5,345百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 15,870百万円（22.8％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△13.76	—
2025年3月期第1四半期	2.17	2.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	705,085	401,758	56.8	1,960.42
2025年3月期	740,715	415,515	55.9	2,013.07

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 400,322百万円 2025年3月期 413,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	498,000	1.6	12,100	7.9	9,000	9.8	2,000	97.2	9.79
通期	950,000	△4.1	25,000	△26.7	22,500	△26.3	5,500	△85.5	26.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ②①以外の会計方針の変更 : 無
- ③会計上の見積りの変更 : 無
- ④修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	219,281,450株	2025年3月期	219,281,450株
------------	--------------	----------	--------------

②期末自己株式数

2026年3月期1Q	15,078,712株	2025年3月期	13,628,814株
------------	-------------	----------	-------------

③期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	205,136,431株	2025年3月期1Q	205,582,626株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2025年7月31日 (木) に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社は日本をはじめ北米、欧州、中国、その他アジアを中心に23の国と地域に183拠点をもち、約15,000種類の製品・サービスを車載市場、モバイル市場、民生市場向けに販売しています。車載市場は、主に日本・北米・欧州の大手自動車メーカー向けに直接販売するTier1ビジネスを中心に、世界中の自動車部品メーカー向けに販売するTier2ビジネスも行っています。モバイル市場は、大手スマートフォンメーカーをはじめ、その他モバイル関連製品を扱う顧客にも販売を行っています。また、民生市場は、自動車やモバイル製品以外のパソコン、家電、ゲーム機器や一部産業機器等のメーカーに販売しています。

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、世界経済における各国の政策転換や地政学リスクの高まり、米国の追加関税等の影響で、不確実性が高い状況です。また前年同期比で、円高により売上高及び営業利益が押し下げられています。車載市場では、自動車部品メーカー向けに販売するTier2ビジネスは堅調な一方で、当社主要顧客である日本・北米・欧州の自動車メーカーが中国市場等での競争激化によりTier1ビジネスの受注は踊り場が続いています。モバイル市場では、大手スマートフォンメーカー向けが堅調です。民生市場では、ゲーム機器向けやその他電子部品の需要が拡大しています。

当第1四半期連結累計期間における経営成績の概況については以下のとおりです。なお、下記に示す売上高は外部顧客に対する売上高であり、報告セグメント間売上高は内部取引売上高として消去しています。

セグメントの状況

<コンポーネント事業>

売上高は、民生市場向け製品やモバイル市場向け製品の需要拡大により増加しました。営業利益は、売上高の増加がある一方で、円高による押し下げ影響や製品構成の変化による変動費率の上昇により減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるコンポーネント事業の売上高は829億円（前年同期比14.8%増）、営業利益は62億円（前年同期比13.2%減）となりました。

<センサー・コミュニケーション事業>

売上高は、車載市場向け製品が従来モデルのキーレスエントリーシステム製品からデジタルキー製品への置き換えによる端境期にあたることから減少しました。営業利益は、売上高の減少のほか、変動費率の上昇、開発費や固定費が増加したことにより前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるセンサー・コミュニケーション事業の売上高は198億円（前年同期比4.1%減）、営業損失は21億円（前年同期における営業利益は0億円）となりました。

<モビリティ事業>

2026年3月期より従来の「モジュール・システム事業」を「モビリティ事業」へ名称を変更しました。

売上高は、円高による押し下げにより減少しました。営業利益は、売上高の減少や賃金の上昇があったものの、新製品異常費用の改善、開発費や貸倒引当金繰入額の減少により前年同期比で改善しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるモビリティ事業の売上高は1,314億円（前年同期比3.3%減）、営業損失は5億円（前年同期における営業損失は61億円）となりました。

以上により、上記の3事業セグメントにその他を加えた当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高2,389億円（前年同期比2.3%増）、営業利益37億円（前年同期比204.3%増）、経常利益12億円（前年同期比73.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失28億円（前年同期における親会社株主に帰属する四半期純利益は4億円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比べ356億円減少の7,050億円、自己資本は136億円減少の4,003億円となり、自己資本比率は56.8%となりました。

流動資産は、現金及び預金、その他流動資産の減少と、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末と比べ362億円減少の4,586億円となりました。

固定資産は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具の増加と、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末と比べ6億円増加の2,464億円となりました。

流動負債は、短期借入金、賞与引当金の減少と、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ212億円減少の2,056億円となりました。

固定負債は、持分法適用に伴う負債、退職給付に係る負債の減少と、繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末と比べ6億円減少の976億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間は、4月30日時点の当初計画よりも円安を想定しています。また、4月30日時点の情報に基づき追加関税の影響や自動車生産に対する需要減を慎重に見込んでいましたが、車載市場、モバイル市場向け製品が想定より堅調に推移する予想となりました。

第3四半期以降は、市場の変化等の不確定要素も多く4月30日時点の予想を据え置きしています。

この結果、通期の業績予想は、第2四半期連結累計期間における変化分を上方修正します。

第2四半期連結会計期間の為替レートは、1米ドル=145.00円、1ユーロ=170.00円、1人民元=20.00円とし、第3四半期以降は、2025年4月30日に発表したレートと同じ1米ドル=140.00円、1ユーロ=160.00円、1人民元=19.50円にて試算しています。

なお、業績予想には、現時点で入手可能な将来予測に基づく情報が含まれています。今後も為替の変動、各市場の需要増減等の不確定要素により、実際の業績が業績予想と大幅に異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	147,941	116,056
受取手形及び売掛金	166,841	164,336
商品及び製品	69,331	70,475
仕掛品	18,841	18,808
原材料及び貯蔵品	50,462	54,102
その他	43,453	36,921
貸倒引当金	△1,926	△2,047
流動資産合計	494,946	458,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,484	128,458
減価償却累計額及び減損損失累計額	△89,757	△90,411
建物及び構築物（純額）	36,726	38,047
機械装置及び運搬具	346,102	345,162
減価償却累計額及び減損損失累計額	△297,101	△295,121
機械装置及び運搬具（純額）	49,001	50,041
工具器具備品及び金型	154,306	156,051
減価償却累計額及び減損損失累計額	△139,805	△140,698
工具器具備品及び金型（純額）	14,500	15,352
土地	16,335	16,397
建設仮勘定	20,108	19,694
有形固定資産合計	136,673	139,532
無形固定資産	22,031	23,069
投資その他の資産		
投資有価証券	60,033	57,466
繰延税金資産	15,234	15,055
退職給付に係る資産	364	198
その他	13,593	13,528
貸倒引当金	△2,162	△2,418
投資その他の資産合計	87,064	83,830
固定資産合計	245,769	246,432
資産合計	740,715	705,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	90,381	99,705
短期借入金	44,288	16,764
未払費用	14,093	15,068
未払法人税等	7,350	6,506
賞与引当金	10,087	6,150
製品保証引当金	9,680	9,663
その他の引当金	1,870	2,146
その他	49,109	49,628
流動負債合計	226,861	205,634
固定負債		
長期借入金	56,499	56,490
繰延税金負債	23,717	23,851
退職給付に係る負債	13,194	12,982
役員退職慰労引当金	66	67
持分法適用に伴う負債	2,009	1,547
環境対策費用引当金	796	796
その他	2,055	1,955
固定負債合計	98,338	97,691
負債合計	325,200	303,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,730	38,730
資本剰余金	123,872	123,873
利益剰余金	213,942	204,950
自己株式	△28,254	△30,296
株主資本合計	348,289	337,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,154	21,095
土地再評価差額金	△476	△476
為替換算調整勘定	48,699	47,827
退職給付に係る調整累計額	△5,672	△5,381
その他の包括利益累計額合計	65,704	63,064
新株予約権	5	2
非支配株主持分	1,515	1,433
純資産合計	415,515	401,758
負債純資産合計	740,715	705,085

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	233,593	238,920
売上原価	192,080	199,263
売上総利益	41,512	39,656
販売費及び一般管理費	40,288	35,929
営業利益	1,224	3,726
営業外収益		
受取利息	470	496
受取配当金	512	459
持分法による投資利益	458	677
為替差益	2,703	—
その他	119	201
営業外収益合計	4,264	1,834
営業外費用		
支払利息	285	196
為替差損	—	3,719
その他	416	374
営業外費用合計	701	4,291
経常利益	4,787	1,270
特別利益		
固定資産売却益	12	10
為替換算調整勘定取崩益	199	—
その他	0	0
特別利益合計	211	10
特別損失		
固定資産除売却損	25	47
減損損失	95	106
その他	16	4
特別損失合計	137	158
税金等調整前四半期純利益	4,861	1,122
法人税、住民税及び事業税	2,383	2,804
法人税等調整額	1,927	1,036
法人税等合計	4,311	3,840
四半期純利益又は四半期純損失(△)	550	△2,717
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	445	△2,821
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,776	△2,059
為替換算調整勘定	16,504	△823
退職給付に係る調整額	196	275
持分法適用会社に対する持分相当額	395	△18
その他の包括利益合計	15,320	△2,627
四半期包括利益	15,870	△5,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,688	△5,461
非支配株主に係る四半期包括利益	182	116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 3
	コンポーネ ント事業	センサー・コ ミュニケーシ ョン事業	モビリティ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	72,250	20,658	135,904	228,813	4,779	233,593	—	233,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	4	10	85	2,665	2,750	△2,750	—
計	72,320	20,663	135,915	228,899	7,444	236,344	△2,750	233,593
セグメント利益又は損失(△)	7,181	99	△6,191	1,088	169	1,257	△32	1,224

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	コンポーネ ント事業	センサー・コ ミュニケーシ ョン事業	モビリティ事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	95	—	—	95

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務諸表 計上額 (注) 3
	コンポーネ ント事業	センサー・コ ミュニケーシ ョン事業	モビリティ 事業 (注) 4	計				
売上高								
外部顧客への売上高	82,919	19,821	131,417	234,157	4,762	238,920	—	238,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	3	7	71	2,720	2,791	△2,791	—
計	82,980	19,824	131,424	234,229	7,482	241,712	△2,791	238,920
セグメント利益又は損失(△)	6,234	△2,143	△539	3,551	189	3,740	△13	3,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムの開発、オフィスサービス、金融・リース事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

4. 当第1四半期連結会計期間より「モジュール・システム事業」としていたセグメント名称を「モビリティ事業」へ変更しています。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	コンポーネント 事業	センサー・コミュニ ケーション事業	モビリティ事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	55	25	25	—	—	106

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,450,400株の取得を行っています。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,042百万円増加しました。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が30,296百万円となっています。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	9,542百万円	8,352百万円